
祈り

柚木

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

祈り

【Nコード】

N0794C

【作者名】

柚木

【あらすじ】

あなたは何に『祈り』ますか？『空に祈る』女性の話を書いてみました。

『ねえ里乃？お祈りってやっぱ流れ星かなあ？月？星？』
と聞かれたので、

『私は空に祈る。』
と答えた。

『空？』
とても不思議な顔をされた。

『そう。空に。』

『空の何に？』

何と言われても…

『空自体に。』

私は空が好きだ。大きくて、優しくて、綺麗で、でもどこか完璧
じゃなくて。

空は気まぐれで、太陽や月を隠したり、出したり。

空は、毎日コロコロ表情を変える。
雨の日は空が泣いてる日。

私の心も痛くなる。

空はいつでも私を見てくれる。

だから私は

『空に祈る。』

それを聞いていた彼が私に話しかけてきた。

『空は朝？昼？夜？いつ祈るの？』

『空はいつでもあるから、いつでも祈りを聞いてくれるけど。』

『叶うの？』

『さあ…』

『さあ？って…叶った事は？』

『叶えて欲しくて祈ってるんじゃないの。』

これから私はがんばります、見ててください。って祈るの。』

『自分の力で頑張るって事か。俺も今日から空に祈る。』

これが彼との始まり。この会話を交わしてから三年が経った。

私は今日その彼と結婚する。

朝、彼はこんな事を言った。

『実は、最初に空に祈ったのが、里乃と仲良くなれるように頑張ります！見ててください。だった。』

『叶ったね。』

『うん。空はすごい。いつもいつでも上を見上げれば勇気をくれた。』

『今日は晴れだね。空も祝ってくれてるよ。』

『空』がなかったら私は彼とこつはならなかったかもしれない。

これから先、まだまだ長い人生が待っている。

これから先も私は
『空に祈る』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0794c/>

祈り

2010年12月4日04時53分発行